

2019年度
商工業振興に関する要望書

苫小牧商工会議所

<平成30年10月30日 苫小牧市へ提出>

最重点要望事項

1. 駅南口周辺地域再整備の促進

重点要望事項

1. 車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施
2. 北海道運輸局苫小牧運輸支局(仮称)の新設について
3. 子育て環境の整備強化
4. 自然災害に対する防災対策の強化とインフラ整備

第1章 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

1. 低廉かつ安定的な電力供給確保の推進
2. 企業活動の基盤をなす労働力の慢性的な人手不足に対する人材育成・確保等の雇用対策推進
3. CO2フリー社会の実現を目指した水素エネルギーの利活用の促進
4. 地域の景気刺激策の推進
5. 地元中小企業の安定経営を支える諸事業の推進
6. 持続可能な地域社会形成の推進

第2章 まちづくり並びに都市機能強化の推進

1. まちづくりにおける東西バランスのとれた有効的な諸施策の推進
2. 市民生活の安全と経済活動の利便性向上に向けた道路整備等の推進
3. 地域の持続的発展と活性化のための近隣都市(道央・胆振・日高)との地域連携の推進

第3章 地域振興施策の推進

1. 経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進
2. 新千歳空港の国際拠点空港化を促進するための整備促進並びに機能強化
3. 日本有数の広大な開発用地と優れた交通アクセスを有する苫小牧東部地域の事業開発の推進
4. 地場産業の振興、新たな産業創出につながる企業誘致の推進
5. 北海道開発にかかる枠組みの堅持

第4章 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

1. 国際コンテナターミナル周辺を含めた基盤整備及び施設整備
2. 苫小牧港西港区の老朽化対策の推進
3. 苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致
4. 苫小牧港(東西港区)の一体的な整備推進

第5章 観光振興施策の強化

1. 港を舞台とした観光・交流の促進
2. 地域特性を生かした観光ルート形成とPR等情報発信の強化
3. 食・スポーツ等による交流人口増加の促進

特別要望事項(中長期計画)

1. 災害時対応道路として国道36号線と臨海北通の接続道路新設
〔中野跨線橋～港跨線橋の約4.2Km間〕
2. 南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化
3. 新千歳空港駅の大規模改修及び苫小牧方面へとつながる路線の整備

最重点要望事項

1. 駅南口周辺地域再整備の促進

- (1)旧サンプラザビルに関する権利集約の早期実現
- (2)旧サンプラザビル・駐車場施設の公費解体
- (3)JR北海道、有識者、民有地所有者等との協議による駅南口周辺地域再整備に向けた全体構想策定の推進
- (4)まちなか居住促進のための生活環境整備の推進
- (5)高度利用地区指定の解除

重点要望事項

1. 車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施

2. 北海道運輸局苫小牧運輸支局(仮称)の新設について

3. 子育て環境の整備強化

- (1)相談・一時保護機能を備えた児童相談所の設置
- (2)仕事と子育ての両立に適した保育環境整備の更なる推進

4. 自然災害に対する防災対策の強化とインフラ整備

- (1)公的津波避難施設設置の推進
- (2)集中豪雨による冠水対策等防災対策の強化
 - ①冠水防災情報の提供
- (3)地震災害に対する防災対策の推進
- (4)地籍調査の早期着手

第1章 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

1. 低廉かつ安定的な電力供給確保の推進

- (1) 泊発電所の早期再稼働に向けた関係機関への要請
- (2) 電力の大規模消費地（工業地帯等）として苫東厚真発電所の将来を見据えた新たな発電施設の誘致

2. 企業活動の基盤をなす労働力の慢性的な人手不足に対する人材育成・確保等の雇用対策推進

- (1) 人材育成事業の推進
 - ① インターンシップ・体験就労・人材育成セミナーの開催等への支援
 - ② 苫小牧地域職業訓練センターの実習設備整備への支援
 - ③ 人材育成事業に関する情報発信の強化
- (2) 労働環境整備や待遇改善等の雇用確保対策への支援
- (3) 高齢者や女性労働者活用に対する支援
- (4) 若年者の雇用・人材育成に関する支援
- (5) U I ターン事業の推進
- (6) U I ターン相談窓口の開設
- (7) 地元就職を促進する新規高卒者（予定者）合同企業説明会の苫小牧での開催
- (8) 学校や教職員に対する市内企業PRの機会創出
- (9) 介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援
- (10) 外国人労働者雇用に関する情報発信及び就労ビザ取得要件緩和
- (11) 外国人留学生を受入可能な資格取得課程の創設

3. CO2フリー社会の実現を目指した水素エネルギーの利活用の促進

- (1) 水素エネルギープロジェクト会議の実用化に向けた活動と成果の公表
- (2) 水素エネルギー社会構築に向けたロードマップに基づく各種施策の実施

4. 地域の景気刺激策の推進

- (1) 公共事業予算枠確保
- (2) 公共事業の早期発注並びに発注・施工時期の平準化の推進
- (3) 働き方改革に対応した公共事業発注の推進
- (4) 地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上
- (5) 公共事業の経済状況に即した発注金額の設定と入札制度の改善
- (6) 指定管理者に対する地場活用の推進

5. 地元中小企業の安定経営を支える諸事業の推進

- (1)ものづくり人材育成事業への協力・支援
- (2)職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援
- (3)中小企業関連条例に則した事業の推進
 - ①「苫小牧市中小企業振興条例」
 - ②「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」
- (4)中小企業金融対策
 - ①日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格
 - ②苫小牧市融資制度の機能拡充（事業承継対応、雇用対策、空き店舗活用等）
- (5)苫小牧中小企業相談所に対する市補助金の安定確保
- (6)創業支援体制の継続及び強化
 - ①苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充
- (7)地域産業資源の指定数の拡大
- (8)とまチョップポイントを活用した商業振興の推進
- (9)地元中小企業に対する政策の一元化

6. 持続可能な地域社会形成の推進

- (1)婚活事業における連携並びに協力支援
- (2)大学や大学サテライトキャンパスの誘致
- (3)特別支援学校の新設

第2章 まちづくり並びに都市機能強化の推進

1. まちづくりにおける東西バランスのとれた有効的な諸施策の推進

- (1)人口減少社会に対応した生活圏形成の推進
- (2)地域商業地区の整備促進
- (3)商業地区の空き地・空き家の有効活用の推進
- (4)店舗改装費補助金の拡充
- (5)柳町・明野新町周辺の大型商業施設への各種証明取扱所の設置
- (6)老朽化した建築物の取り壊しを含む対策の促進
- (7)勇払地区活性化計画の検討

2. 市民生活の安全と経済活動の利便性向上に向けた道路整備等の推進

- (1)緑跨線橋架け替え工事期間の短縮と迂回道路の対応並びに安全対策の強化
- (2)道道苦小牧環状線（札幌方面）から国道276号線に左折する車線レーンの増設（市立病院前交差点）
- (3)苦小牧停車場若草道線の一方通行の解除
- (4)国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化
- (5)苦小牧登別通（仮称）の接続整備
- (6)美沢錦岡通の早期整備
- (7)臨海東通の早期整備
- (8)市道柏原開拓1号線の更なる安全性の確保
- (9)市道東部1条通の道道上厚真苦小牧線への接続
- (10)工業団地内の交通標識設置の推進
- (11)苦小牧中央IC周辺整備に合わせた道道276号線の拡幅整備
- (12)苦小牧中央IC周辺への情報発信機能を有するパーキングエリア等施設の誘致
- (13)通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苦小牧間（快速便を含む）の増便に向けた関係機関への要請
- (14)市内公共交通機関の系統を含めた交通システムの見直し
- (15)繁華街への防犯カメラの設置
- (16)無料Wi-Fi環境の整備

3. 地域の持続的発展と活性化のための近隣都市（道央・胆振・日高）との地域連携の推進

第3章 地域振興施策の推進

1. 経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進

- (1) 統合型リゾートに対する市民理解の促進
- (2) 北海道と連携した誘致活動の推進
- (3) 苫小牧統合型リゾート推進協議会との連携強化

2. 新千歳空港の国際拠点空港化を促進するための整備促進並びに機能強化

- (1) 新千歳空港の機能強化
 - ① 発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上（C I Q体制、リムジンバス等交通アクセスの充実）
 - ② 滑走路延長の早期実現
 - ③ 国際線新航路の誘致
- (2) 空港の拡張に係る地元企業の参入
- (3) 空港民間委託による新千歳空港の一層の活性化

3. 日本有数の広大な開発用地と優れた交通アクセスを有する苫小牧東部地域の事業開発の推進

- (1) 苫小牧東部地域の特性を活かした多彩な産業の誘致並びにプロジェクト誘致への支援（自動車関連産業・食関連産業・物流関連産業・エネルギー関連産業等）
- (2) 苫小牧東部地域を支える道路等のインフラ整備の促進（維持・更新を含む）
- (3) 苫小牧東部地域食品流通・加工拠点形成への支援
- (4) 苫小牧東部地域に自動走行関連事業（自動走行試験場、公道試験プロジェクト、研究開発・生産機能等）の誘致推進

4. 地場産業の振興、新たな産業創出につながる企業誘致の推進

- (1) 企業立地振興条例に基づく優遇措置拡大（物流関連産業含む）
- (2) 進出企業に対するフォローアップの継続
- (3) インキュベーション施設の設置
- (4) 苫小牧市テクノセンター機器の更新及び導入
- (5) 中小企業の輸出に関する取り組みへの支援

5. 北海道開発にかかる枠組みの堅持

第4章 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

1. 国際コンテナターミナル周辺を含めた基盤整備及び施設整備

- (1)東港区の機能伸展のためのインフラ整備
- (2)函館税関コンテナ検査施設（X線検査場）の東港区での早期設置
- (3)コンテナヤードの拡張と競争力ある料金設定への支援
- (4)輸出貨物の増加を図るための施設整備
- (5)東港区集約に伴う物流事業者の関連施設移転等に対する支援
- (6)公設コンテナシャーシー駐車場の設置
- (7)国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備

2. 苫小牧港西港区の老朽化対策の推進

- (1)新バース整備の推進（中央北埠頭の係留施設改良への着手）
- (2)西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化
- (3)埠頭の有効活用と港湾機能強化

3. 苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致

4. 苫小牧港（東西港区）の一体的な整備推進

- (1)市道東部南通線の路肩を含めた道路整備
- (2)勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事までの橋梁強化

第5章 観光振興施策の強化

1. 港を舞台とした観光・交流の促進

- (1) 漁港区周辺の商業施設の更なる充実
- (2) 外国船を含めたクルーズ客船の誘致並びに寄港への支援
- (3) 「みなとオアシス苫小牧」事業への支援
- (4) イベント等によるキラキラ公園の更なる活用
- (5) 港や周辺地域を活用した海釣り観光スポットの創設

2. 地域特性を生かした観光ルート形成とPR等情報発信の強化

- (1) 苫小牧の優位性（産業観光、気候特性等）を活かした新たな観光モデルの創出
- (2) 多言語案内標識等、訪日外国人観光客増加に対応した諸整備の推進
- (3) 樽前登山やゴルフ場等観光スポットの外国人向けPRの強化
- (4) 錦大沼公園（ハナショウブ園）の利活用の促進及びPRの強化
- (5) 広域観光ルートと交通アクセスの確立

3. 食・スポーツ等による交流人口増加の促進

- (1) 地産地消の推進にかかる事業への支援
 - ① 東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい事業への助成
 - ② 地産地消情報発信の推進強化
- (2) 全国・全道大会並びにスポーツイベント、合宿等の誘致推進
 - ① 緑ヶ丘公園陸上競技場を活用した大会等の誘致
 - ② とましんスタジアム（緑ヶ丘球場）を活用したスポーツイベントの誘致
 - ③ 2020年夏季オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致活動の推進
- (3) スポーツ都市苫小牧としての施設の充実
 - ① 苫小牧市緑ヶ丘総合運動公園並びに周辺環境の整備
 - ㊦ クロスカントリーコース早期設置
 - ② 国際基準に対応した施設整備の推進
 - ③ 苫小牧サイクリングターミナルの積極的な活用への支援
- (4) 札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れたスポーツ施設の拡充

特別要望事項（中長期計画）

1. 災害時対応道路として国道36号線と臨海北通の接続道路新設
〔中野跨線橋～港跨線橋の約4.2Km間〕
2. 南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化
3. 新千歳空港駅の大規模改修及び苫小牧方面へとつながる路線の整備